

第 3 編

専門部会

● 主な内容

1. 溶接棒部会 67
2. 電気溶接機部会 75
3. ガス溶断部会 80
4. 船舶・鉄構海洋構造物部会 85
5. 航空機部会 89
6. 機械部会 91
7. 車両部会 95
8. 自動車部会 98
9. 建設部会 100
10. 鉄鋼部会 102
11. ろう部会 107
12. はんだ・微細接合部会 111

第3編 専門部会

専門部会は、溶接に関する技術の調査・研究などを行うことを目的として設けられることが、本協会の定款・第31条に定められている。また、細則の第67条にその数と名称が、第68条～第73条に運営などに関する事項が規定されている。

専門部会の設立時期は一律ではないが、大多数の部会は本協会設立とほとんど同時期に設置されており、協会活動の大きい柱の一つをなしてきた。専門部会には、部会の下に業務委員会と技術委員会を置く、メーカー色の強い「溶接業界部会」的なものと、業務委員会を置かず部会そのものが技術委員会的な活動を行う、ファブリーケータ色の強い「溶接関連業界部会」的なものに大別される。溶接棒部会、電機溶接機部会、ガス溶断部会およびろう部会が前者、そして船舶・海洋構造物部会、航空機部会、機械部会、車両部会、自動車部会、建設部会、鉄鋼部会およびはんだ・微細接合部会が後者である。

この10年間における専門部会全体の特記事項としては、次のようなことが挙げられる。

- (1) 1953年に発足した「航空機部会」が、部会の役割・活動の目的を達成したとして、2003年度で活動を休止し、50年に亘る部会の歴史を閉じた。
- (2) 1987年設立の「はんだ研究委員会」が、設立20周年を機に改組され、2007年度から「はんだ・微細接合部会」として活動を開始した。
- (3) 「貴金属ろう部会」(1965年創立)は、2008年度から「ろう部会」に名称を変更した。

したがって、航空機部会が活動を休止した2003年度からの3年間は専門部会数が10となったが、2007年度にはんだ・微細接合部会が新たに設置され、現時点(2009年度)での専門部会数は再び11となっている。